

南部町（農林課）農道橋定期点検結果

点検概要

橋梁点検は、構造安全性および交通安全性に影響する損傷や第三者被害が懸念される損傷の早期発見と処置を行うとともに、橋梁の予防保全型維持管理（**アセットマネジメント**）を行うために必要な情報を収集することを目的としています。

本点検は、南部町農林課で管理する農道橋について行い、点検結果は今後の維持管理方針・修繕計画等を策定する上で、重要なものとなります。

アセットマネジメント：道路施設を町民の資産としてとらえ、その資産を長期的視点に立って、効率的・効果的に管理運営する体系化された手法である。

『壊れてから作る（スクラップ＆ビルド）のではなく、壊れる前に補修（メンテナンス）することで、長期的に経済的となる。』

・南部町（農林課）管理橋梁の概要

対象となる橋梁は、南部町農林課管理の農道橋で、「葉柴山2号橋」1橋の点検を実施しています。



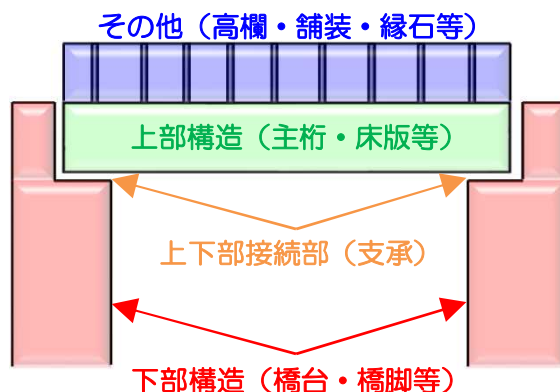
図 葉柴山2号橋の現状

我が国の社会資本は、1955年～1975年の高度経済成長期を中心に急速に整備されました。近年これらの社会資本の老朽化が進み、同時期に高齢化を迎えようとしており、更新費・維持管理費の増大が懸念されています。これは、南部町でも例外ではありません。

南部町農林課管理の「葉柴山2号橋」は、1988年に建設されており、約35年経過しています。この時代に建設された橋梁は一般に橋梁寿命が50年といわれており、15年後には更新時期を迎えることとなります。

定期的に橋梁の点検を行い、維持修繕に係る費用の縮減を図ることが重要！

・橋梁点検方法の概要



道路橋定期点検要領
国土交通省 道路局

点検は、橋梁のすべての部材（橋面工・上部工・下部工等）について橋梁に関する技術的な知識を有する資格者により公的マニュアルに基づいて、定量的な健全度評価を行います。

点検機材

- ・タブレットPC＋橋梁点検支援システム（BMS：ブリッジマネジメントシステムの略）

タブレットPC



※出典：R P I 【(財)大阪地域計画研究所】

橋梁点検作業風景



葉柴山2号橋点検状況
【橋梁点検車による点検】



葉柴山2号橋点検状況
【橋梁点検車による点検】

・橋梁点検結果一覧

橋梁名	橋齢	所在地	橋長	点検結果						
				総合評価	主桁	横桁	床版	下部構造	支承	その他
葉柴山2号橋	35	南部町大字平字葉柴山地先	25.3	I	I	—	—	I	I	I

【判定区分】

I	健全	・監視や対策を行う必要のない状態をいう
II	予防保全段階	・状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態をいう
III	早期措置段階	・早期に監視や対策を行う必要がある状態をいう
IV	緊急措置段階	・緊急に対策を行う必要がある状態をいう

総 評

令和6年度に実施した点検では、構造機能低下に繋がる重大な損傷は、見受けられませんでした。南部町農林課では、点検結果・農道橋長寿命化修繕計画に基づき、今後も「安全・安心」なインフラサービスを提供できるように、適切な維持管理を行っていきます。